

# 第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

大牟田市立天領小学校

教諭 釘宮 遥

## 1 単元名「有明海の魅力発信 大作戦」

### 2 単元の目標

- 有明海には、生き物が環境に適した場所で生息していること、人が自然環境に対して及ぼす影響について理解するとともに、有明海の魅力を天領小や地域の人達に伝わるようなリーフレットをつくりまとめることができる。(知識・技能)
- 有明海のゴミ調査を通して、有明海にはたくさんのゴミがあること、また、有明海の美しい様子や有名な海苔を知ることによって、これからの有明海を守っていききたいという思いを持ち、その実現可能性や効果性の視点から考え、判断し、他者によりよく伝わるように表現することができる。(思考力・判断力・表現力)
- 大牟田の宝である有明海を守っていききたいという目的意識を持ち、意欲的に有明海を守るために働いてきた人達と関わったり、沖縄県の海のゴミの状況を調べたりしたことを、リーフレットにまとめ、広く発信しようとする態度を身につけることができる。(学びに向かう力・人間性等)

### 3 単元について

#### (1) 教材観

海洋ゴミ問題が深刻化し、2050年には魚より海洋ゴミの量が多くなると言われている。プラスチックゴミだけをとっても世界には合計1億5000万トン以上の量が存在していると言われ、流出ゴミの65.8%を占めているプラスチックゴミはその素材の性質上滞留期間が長く、日本から流出しているプラスチックゴミも2～6万トンと推計されている。

海洋ゴミは海の生き物に甚大な影響を及ぼしている。これまでに世界では魚類をはじめ、ウミガメや海鳥、鯨などの海洋哺乳類など少なくとも700種に影響を与えている。また、有明海のカニの中からマイクロプラスチックが発見されるなど、海洋ゴミの問題は身近な所にも感じるようになってきている。

本校近辺は、諏訪川河口部分にあたり、汽水域としての性質をもつ。しかし、生物たちの生息している場所には人の生活排水や金属、プラスチックなどのゴミが大量に存在している。

また、有明海は、「海苔産業」も盛んである。有明海の家産品はとて有名で東京などでも販売され、時には学校給食にも出され、好んで食べられている。その海苔を生産するための課題を知り守り続けるために自分たちができることを考えること、三池港の歴史や世界とのつながりを知ること、人の生活を見直し、自然環境を守るために人ができることを考えることは、自然と人との共生を目指す海洋教育において意義深いものである。

#### (2) 児童観

本学年の子どもたちは、これまで第3学年で海を対象として、干潟観察会や海の生き物の飼育、生き物調べなどを行い、海祭りで他者に対して有明海の生き物のおもしろさや生き物の住む環境を守ることの大切さを伝え、第4学年では、川の水質検査を行い、自分が行う環境保全が自然に及ぼす影響について考え、学校や地域の人々に発信してきた。そこで、本年度は第4学年までの学習から調べてみたいことのアンケートを実施した。アンケートの結果では、「諏訪川のゴミについて調べたから、有明海のゴミについて調べたい」、それ以外は「有明海で有名なのりについて調べたい」、「外国の海について調べたい」という子どもたちが多く見られた。このように、子どもたちの多くは、海に興味・関心をもち、守りたいという思いを持つことができている。

このことから、第5学年の海洋教育において、大牟田の宝である有明海を対象として、体験的活動を生かした探究活動を行い、有明海のよさやゴミの存在について話し合い、環境保全活動を行うことは、持続可能な社会の担い手として、諸問題に対して主体的に学び、他者と協働して課題を解決する子どもを育てる上で意義深いと考える。

### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず第4学年までの学習を想起させ、第5学年でどんな学習をしていきたいかそれぞれ考えを出させ、「諏訪川のゴミについては調べたので、有明海にもゴミがあると思うから調べてみたい。」という思いから、有明海のゴミ調査を行う。そこで、どんなゴミが多かったかという現状を理解させる。また、有明海によさについて考えさせるため、有明海のいろいろな写真を提示する。このことを通して、有明海は「きれいなんだ。」「守っていきたい。」という思いを持たせる。そして、有明海の花を食べさせ、有明海の花は「おいしい。」「たくさんの人にこのおいしさを知って欲しい。」という思いを持たせ、この魅力的な有明海を守っていききたいと意欲をもたせたい。

次に、三池港クルージングに行き、有明海の花のこと、三池港の役割のこと、海洋環境整備船「海煌」「海輝」の役割のことなどについて学ばせる。その上で、クルージングで学んだことをより深く調べ、特に自分がこれから調べていきたいことを「有明海の花」、「三池港」、「海洋環境整備船」の中から選び、グループごとにくわしく調べていきたい課題を見つけ、パンフレットや図鑑、本、インターネット、インタビューなどで調べる。その調べたことを、三池港クルージングでお世話になった方々をGTとして招き、発表をする。

そして、GTの方からのアドバイスをもとに、付加・修正をして模造紙や画用紙にまとめ、仕上げる。

さらに、これらの活動を振り返らせ、「大牟田の宝である有明海を守っていくため」に自分たちができることはないだろうかと話し合う活動を通して、リーフレットづくりやマップづくりなどをして、他学年に紹介したり、大牟田市観光プラザに置いてもらったりして、これからの活動につなげていく。

### (4) ESD との関連

#### ○本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性・・・有明海は大牟田だけのものではなく、その他の市町村とも繋がっていること。

有限性・・・海苔づくりは江戸時代から続いていることで、大牟田の特産物であること。

連携性・・・様々な立場の多くの人々が協力して海を守り続けてきたこと。

責任性・・・有明海を守っていくためには、そこに住む自分達の行動が大切であること。

#### ○本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

##### クリティカルシンキング

大牟田の宝である有明海をこれからも大切に守っていくためには、どのような事が必要か、そのためにはどうすることが大切かを考えることができる。

##### システムズシンキング

海苔作りには、海のごみとの関係も関わってくるため、海苔作りに適した環境について考えることができる。

##### 長期的思考力

日本の海のごみの量と、有明海のごみの量を比較して、これから自分たちができることを考えることができる。

##### コミュニケーションを行う力

有明海を守っている人たちの働きや、これから守っていくためには、どんなことが必要なのか、根拠を明らかにして話し合うことができる。

##### 協働的問題解決力

天領小学校のみんなや、家族で、これからも有明海を守っていくためにできることを考えることができる。

#### ○本学習で変容を促す ESD の価値観

##### 世代間の公正

大牟田の宝である、有明海をたくさんの人々が守ってきたから、自分達も有明海を守り続けていかなければならない。

##### 人権・文化を尊重する

有明海の花は、大牟田の特産物であるため、その海苔の文化を大切に守っていく。

### 幸福感を大切にする

人と自然が共生する社会を目指し、それに繋がる行動を取ることが、持続可能な社会の維持・発展には重要である。

### 自然環境・生態系の保全を重視する価値観

人によって出されたゴミによって、生態系を崩さないこと。宝である海苔を守り続けていくこと。

#### ○達成が期待される SDG s

- 1 4 (海洋資源・海の豊かさ)
- 1 1 (持続可能な都市・まちづくり)
- 1 2 (持続可能な生産と消費)

## 4 単元の評価基準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①有明海の特徴（干満の差が激しく栄養が豊富な潟があること）について知り、様々な産業が発展してきたことを理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身につけることができる。</p>	<p>①資料をもとに課題を見だし、大牟田の宝である有明海を守っていくための方策を考えることができる。</p> <p>②三池港クルージングで学んだことや、三池港、海輝、有明海苔について考えたことを模造紙や新聞、リーフレットに表現している。</p>	<p>①大牟田の宝である有明海を守っていきたいという目的意識をもち、意欲的に有明海について関わろうとしている。</p> <p>②有明海のごみ調査や有明海の魅力的な写真を見たり、有明海苔を食べたりして、有明海の良さや課題を意欲的につかみ、自分にできることを模索しようとしている。</p> <p>③有明海（三池港や海輝、有明海苔）について学んだことを他学年や地域の人に納得してもらえるように発信しようとしている。</p>

## 5 単元の指導計画（全25時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 有明海のごみ調査をもとに、有明海にある現状を知り、有明海の課題を見付ける。また、有明海の魅力的な写真を見たり、有明海苔を食べたりすることで、今後の活動の見通しをつかむ。</p> <p style="text-align: center;"><b>(4時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海には、日用品などのゴミがたくさん落ちていたな。</li> <li>・有明海ってこんなに夕日がきれいなんだ。</li> <li>・有明海苔は、こんなに濃くて、味がついているんだ。</li> <li>・こんな素敵なお明海を守っていききたい。きれいな有明海にしたいな。</li> </ul>	<p>○ 4年生までの学習を想起させ、有明海にも同じようにゴミがあることを予想し、有明海のごみ調査を行う。そこで、有明海の現状を知るとともに、有明海の魅力がいっぱい詰まった写真（光の航路の写真など）を見せたり、有明海のお明海苔を食べさせたりすることで、有明海がとても魅力的なものであることを認識させ、この有明海をこれからも守っていききたいという思いを持たせるようにする。</p>	<p>イ① （思判表） ウ①② （主体的）</p>
<p>2 三池港、海洋環境整備船、有明海苔について知る。</p> <p style="text-align: center;"><b>(1時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三池港は、113年も歴史のある港なんだね。</li> <li>・有明海苔はゴミ1つでも入っていたら販売できないんだ。</li> </ul>	<p>○ 三池港クルージングへ行き、三池港の歴史や役割、海洋環境整備船や、有明海苔について説明してもらい、活動の意義をつかませる。</p>	<p>ア① （知・技）</p>
<p>3 三池港クルージングを通して、三池港、海洋環</p>	<p>○ 三池港、海洋環境整備船、有明海苔のこ</p>	

<p>境整備船、有明海苔の中で、さらに調べたいことを見つける。 <b>(3時間)</b></p> <p>4 調べたことを、他のグループの人達やGTの方々に聞いてもらう。 <b>(8時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三池港には、波を抑える役目のスルースゲートというものがあり、そのおかげで台風の時も、大きな被害がなく船を守ることができます。</li> <li>・海洋環境整備船では、海に落ちているゴミを拾う仕事をしています。</li> <li>・海苔は、全国で約64億枚も生産していて、そのうち有明海苔は、約12億枚も生産しています。</li> </ul> <p>5 活動の振り返りをする。 <b>(1時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団琢磨のことについてくわしく教えてもらえてよかったね。</li> <li>・海苔作りの工夫については、取材が足りなかったから、もっと調べたいね。</li> <li>・このことを天領小学校のみんなにも知ってほしいな。</li> </ul>	<p>とをよりさらに詳しく知るために、資料やパンフレット、インターネットや本をもとに調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループごとに課題を決め、調べさせる。クルーズ船でお世話になった市役所の方々にGTとして来ていただき、自分たちの調べたことを発表させる。</li> <li>○ 今後の活動へと連続発展させていかせるために、発表を通して得た思いを想起させる。</li> </ul>	<p>ア② (知・技)</p> <p>イ② (思判表)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>6 前回の発表をもとに、もっと詳しく調べたいことや分からなかったことについて調べなおす。 <b>(2時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海苔業者の方の苦勞が分かったね。このことをもっと他の人たちにも知ってもらいたいね。</li> <li>・天領小だけでなく、天領校区の人たちや大牟田に来る観光客の人にも有明海の魅力を知ってもらいたいな。</li> </ul> <p>7 「大牟田の宝 有明海の魅力リーフレット」を作成する。 <b>(4時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海がとてもしごく大切な海だと分かったけど、自分たちが有明海を守っていく方法はなにか。</li> <li>・新聞よりも、一目で魅力が伝わりやすいリーフレットにしたらどうかな。観光客の人にも見てもらいやすいと思う。</li> </ul> <p>8 活動の振り返りをする。 <b>(2時間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも有明海の魅力が伝わったならいいな。</li> <li>・自分も海苔を食べるときは、有明海の手紙を買うようにして、海苔作りの方々に貢献したいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の活動を通して、追求したいことや、新しい疑問を持たせるために、前回の活動を振り返らせ、グループごとに話し合いを行い、課題を見付けさせる。</li> <li>○今回は、調べたり、アドバイスを受けたりしてどんな考えを持ったかを表現させるために、前回の表現物に付加・修正をさせる。</li> <li>○大牟田の宝である有明海を守っていくためには、自分達にどんなことができるかを考えさせる。</li> <li>○自分たちが守っていくことも大切だが、地域の人、大牟田の人にも守ってもらうために、リーフレットづくりをして、発信させる。</li> <li>○今後の活動へと連続発展させていくために、未来の有明海を守る一員としての役割にも着目させるようにする。</li> </ul>	<p>イ① (思判表)</p> <p>ア② (知技)</p> <p>イ② (思判表)</p> <p>ウ③ (主体的)</p>